

高齢者等の安心・安全の確保のために活用を！！

## ～ 救急医療情報キット ～



大村市管内の救急隊員より、ご意見をいただきました

### 【 実際の活用事例 】

- 独居高齢者を搬送した際に意識障害があり、情報聴取困難。救急医療情報キットを確認し、搬送先病院の選定に役立ち、家族に連絡をして来院してもらった。医療機関は検査や処置のインフォームド Consent のために家族の同乗又は来院を要求してくることが多いので非常に役立った。
- 1 人暮らしの心肺停止現場で、搬送対象ではなかったが冷蔵庫の救急医療情報キットを確認し、名前などの確認を行った。

### 【 活用困難・対応困難事例 】

- 用紙の未記入。
- 訪問看護師や介護職員が把握していない事例があった。
- 救急医療情報キットはあるが、中に用紙が入っていない事例があった。



★他にも、「連携ノート」や在宅医療サポートセンターの「24 時間コールセンター」も、現場では、活用されています。

現場対応したヘルパーや訪問看護師から連携ノートを提示されることもあるそうです！

現場は緊急状態のため、救急隊は**出勤先で、情報確認できるものを必要としています。**  
救急搬送の円滑な対応のために、**必要な方への救急医療情報キットの配布、用紙への記入を確実に、記入後も情報の更新を行う等、ご協力をよろしくお願いいたします。**

ご不明な点は、大村市地域包括支援センターまでお問い合わせください。